

JACDS ダイレクトニュース

発行: 日本チェーンドラッグストア協会 広報担当

2020年3月ドラッグストア売上状況（対前年同月比）

経産省は4月30日、2020年3月分のドラッグストア商品別販売額速報を公表しました。新型コロナの影響で、ドラッグストアの2月対前年同月比は2割近い増加となりましたが、3月は11.5ポイント減の7.5%増加に留まりました。ただスーパーの6.2%増(2月)から2.5%増(3月)に、ホームセンターの9.7%(2月)から3.4%(3月)に、コンビニは3.4%増(2月)から5.4%減(3月)と大幅に落ち込んでいます。ドラッグストアでは食品、ヘルスケア用品、調剤が対前年同月比で2桁台の増加を示していますが、化粧品、OTC医薬品、健康食品はマイナスになっています。

■2020年3月 ドラッグストア商品別販売金額（対前年同月比増加分）（カッコ内は2月分）

商品販売額	: 7.5% (19.0%)
調剤医薬品	: 10.4% (16.7%)
OTC 医薬品	: ▲5.2% (18.1%)
ヘルスケア用品（衛生用品）・介護・ベビー	: 15.0% (47.0%)
健康食品	: ▲4.1% (13.4%)
ビューティケア（化粧品・小物）	: ▲10.1% (3.0%)
トイレットリー	: 3.1% (14.7%)
家庭用品・日用消耗品・ペット用品	: 18.8% (30.8%)
食品	: 18.2% (17.9%)
その他	: 5.5% (11.0%)

（詳細は添付資料をご参照ください）

世界的に健康・医療ビジネスが次の経済成長の源泉だとみなされています。その方向は今回の新型コロナの影響でますます強くなっているように思われます。

また経団連は5月5日、政府の新型コロナ専門家会議の報告を受けて、感染拡大の予防と社会経済活動の両立に向けた感染予防ガイドラインを今月14日までに作成すると発表しました。その後、全ての業種ごとにブレークダウンさせるとしています。ドラッグストアにおいても地域住民に対して、医薬品や衛生用品をはじめ、感染予防対策グッズの安定的な供給を図りながら、地域住民の健康的な生活を確保するための啓発活動に関わる方向を明確に示していく必要があるように思われます。

（文責: 横田）

別添資料

第16表 ドラッグストア商品別販売額等及び前年(度、同期、同月)比増減率

日本チェーンドラッグストア協会 事務局

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-10 楓第2ビル4階
TEL. 045-474-1311 FAX. 045-474-2569